

報告 ノロウイルス食中毒予防強化期間 支部・支所の取組み

オンライン配信でのノロウイルス食中毒予防講習会

大阪支部より

公益社団法人大阪食品衛生協会では、毎年実施している「ノロウイルス食中毒予防講習会」を今年度は**オンライン配信**という形で実施し、食品事業者や介護福祉施設の皆さま等、206名のお申込みをいただき、配信を2回行いました。

オンライン配信の方法については、身近なツールであるYouTubeライブとし、事前に収録した講義を配信しました。

講師は地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所でノロウイルスを研究されている左近直美主幹研究員にお願いし、スライド作成からカメラ前で

の講義撮影、動画配信後に視聴者からいただく質問への回答案の作成まで、多大なご協力をいただきました。また、動画の撮影は、専門業者に依頼し半日程度で終了しました。

一方で、動画配信という一見便利に思えるツールですが、集合型とは異なり、画像記録され悪用される可能性も考えられます。そこで講師の先生等とご相談しながら、

- ①お申込(メール受付)を必須とすること
- ②講義動画には常に「録画禁止」の表示をすること
- ③ライブ配信とし視聴期間を限定すること

等の工夫を行いました。

引き続き、新しい生活スタイルにあった取り組みを模索し、食品業界をはじめ消費者の皆さまに必要な情報の提供をしていきたいと考えています。



左近直美主幹研究員による講義



実際の視聴画面

楽しく学べる！ 小学校での手洗い教室

鹿児島県伊佐地区支所より

伊佐地区食品衛生協会では、平成22年度から毎年、管内の小中学校から依頼を受け、**手洗い訪問指導**を実施しています。手洗いの大切さを理解していただくため、低学年を対象に手作り紙芝居の読み聞かせを行い、高学年へは衛生講話後に講話の内容をクイズで振り返り、正解すると、食中毒予防の心得を記載した「食中毒防止隊員証」を配布しています。また、地元音楽家の方がたと協同制作した、**正しい手順に沿ったオリジナル手洗いソング**を指導に活用しており、子ども達は音楽に合わせて楽しく正しい手洗いや、洗い残し箇所を意識した手洗いに取り組んでいます。「**手洗い手順シート**」はイラストと歌詞をつけ、ラミネート加工し、家族で正しい手洗いを実施できるよう配布しています。毎年、訪問指導している子ども達へは、「手洗い手順シート」を2箇所折るだけで作成できるマスクケースの活用も紹介しています。休み時間には作り方を教えて欲しいと子ども達が集まり、たくさん元気をいただいています。

現在は、感染症予防として、距離を保ち、

フェイスシールドを着用し指導しています。手洗いチェッカー体験時は、待つ位置を表示して密を避け、高学年のクイズは盛り上がりませんが、発声は控えるように指導しています。また、管内では小規模校が多く、生徒数が少ない場合は、水道蛇口を指定して行い、併せて「新しい生活様式」として、マスクの着用方法、黙食などについても指導しています。



オリジナルソングと手洗い手順シートで指導員が指導